

: 2013 R1 新機能紹介



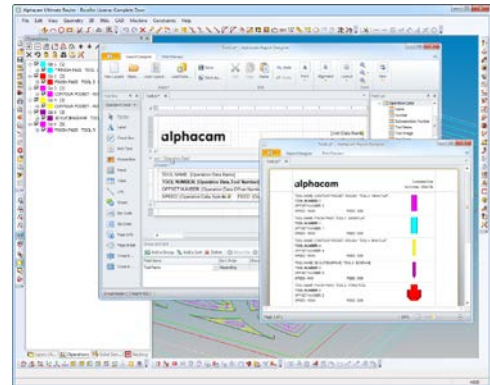
はじめに

このドキュメントは、**Alphacam 2013R1** 新機能の概要を紹介しています。製品およびポストプロセッサや API の新機能、改善、変更、修正などの詳しい内容については、Alphacam 2013 R1 リリースノートを参照してください

新しいレポートアプリケーション機能

新しく追加された Alphacam レポート機能では、ネスティングされたジョブレポート、シート設定、パーツラベルなどのドキュメントを設計・作成できます。ユーザ自身で顧客に向けて、会社ロゴやバーコードラベルをデザインできます。

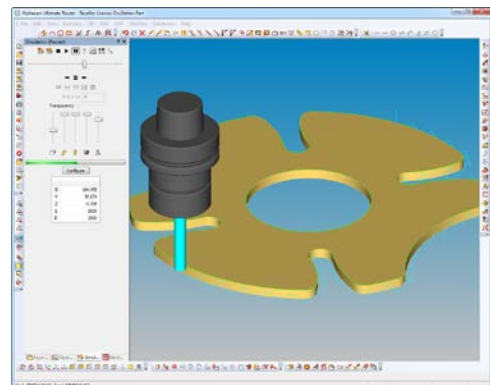
ユーザ自身で設定可能なレポートやラベルを作成できるようになったことで、パーツとプログラムの履歴管理が容易になりました。



工具上下振動機能

波形またはジグザクの上下振動は全ての輪郭加工経路に適用できるため、使用される工具長を最大限活かすことができます。

これは表面仕上げを改善し、工具の寿命を延ばします。振動ピッチと高さは、簡単に設定、編集でき、再利用できるように加工スタイルとして保存できます。

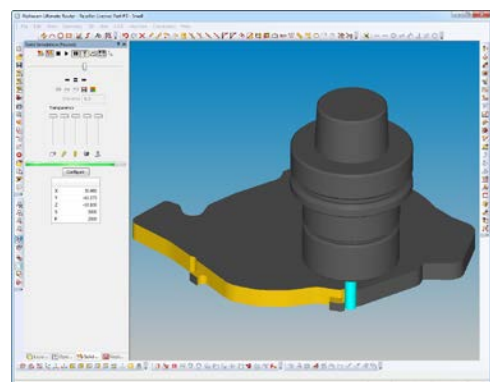


自動サポートタグ

サポートタグは全ての輪郭加工経路（5 軸を含む）に自動的に追加することができます。サポートタグを追加することで、加工した材料に部品が残すことができます。

ネスティングの処理中に小さい部品が移動してしまうのを防ぎ、材料の無駄を減らし、部品の品質を向上させます。

適用されたタグは、簡単に編集することができ、加工スタイルの一部として追加されます。

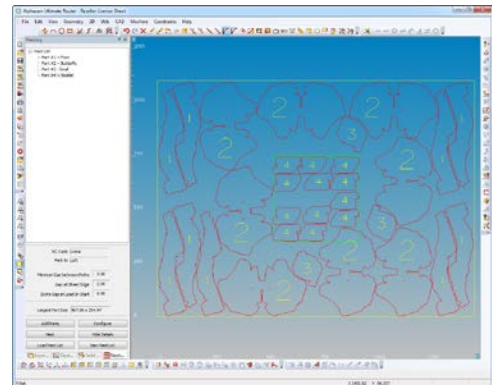


: 2013 R1 新機能紹介

ネスティングゾーン

ネスティング時に、小部材として認識され、シート内の特定エリアにネスティングできるようになりました。小部品は留め具内の領域に制限されるため、(例:真空クランプシートの中心)加工時に移動することはほとんどありません。

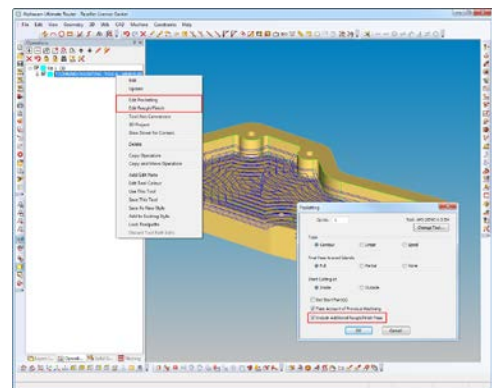
材料の無駄を減らし、部品の品質を向上させることに繋がります。



ポケット加工と仕上げ加工の統合

ポケット加工と仕上げ加工が1つの工程に統合できるようになりました。部品に品質を向上させ、プログラミング時間を短縮させます。

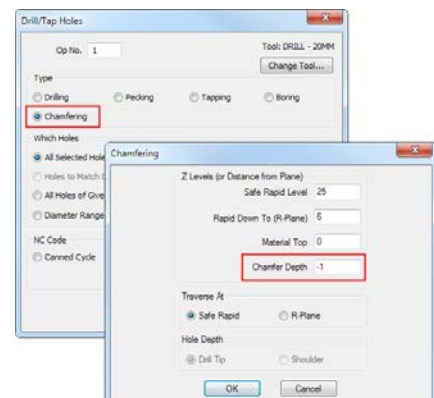
工程を編集する際は、全てを編集するか、ポケット加工や輪郭加工を個別に編集することもできます。また、再利用のために加工スタイルとして保存しておくことも可能です。



ドリル加工の機能改善

- 新しい面取り加工サイクルが追加されました。この新しいサイクルでは、テーパストレート工具を指定すると、面取り深さから自動的に加工深さを計算します。
穴選択で、選択された前穴(自動Zを含む)を指定した場合、工具底面のフラット部分径が穴に入るかを計算し、その工具径で指定した面取り深さを保てるか検証します。
- 既存のドリリング、ペッキング、タッピング、ボーリングサイクルに新しいオプションが追加されました。
- すべてのサイクルは、既存のグローバルリニアに加え、ローカルリニアとして出力できます。

この出力タイプは、作業平面サポート、グローバルリニアで作成される工具ベクトル付きのフル5軸に対応した3+2 NCコード生成します。インデックスタイプの加工機や平面回転機能を使う加工機の操作性を上げます。

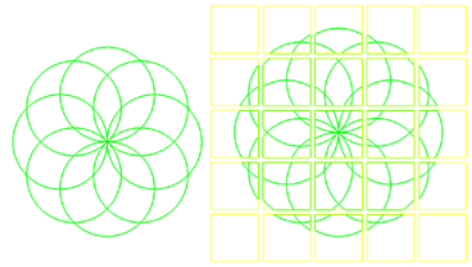


形状パネル

新しいパネルコマンドでは、大きい形状を分割し、自動的に別のパネル(シート)に配置します。

作成された各パネル間には、自動的に隙間が設けられ、ネスティングと同様に、簡単に識別や選択ができるように、元形状から離れて配置されます。

開いた要素は、加工が簡単に行えるように、パネルのエッジに沿って自動的に閉じられます。



パートモデラー機能拡張

- フェース削除のための領域選択
 - 簡単に「ダム」フィーチャが削除できるように、複数のフェースが選択できるようになりました。
 - 左から右へ領域選択では、全てのフェースが入っている場合のみ選択されるようになりました。
 - 右から左へ領域選択では、一部のフェースが入っている場合、選択されるようになりました。
- パートモデラー内の描画アプリケーションが強化されました。
 - "Modifier" ツールバーに"Force Aligned Parallel" 寸法ボタンが導入されました。
 - "Locate" ツールバーに"Construction" 直線ボタンが導入されました。このボタンはモデルアプリケーションでも利用可能です。
- モデルウインドウにアクティブなコンポーネントが表示されるようになりました。
 - 2つ以上のコンポーネントがモデルスペースに存在する場合、アクティブ(選択された)コンポーネントは、モデルウインドウにて赤いチェックで示されるようになりました。

一般的な機能拡張

- 簡略化された製品のインストール
- 多くの CLS ライセンスの拡張
- 新しい BTL トランスレータアドイン
- Vero の VISI パートファイルをインポートできるようになりました。
- SolidWorks 2013 パートファイルのサポート
- 新しい等高線荒加工の素材選択オプション
- オープン要素(加工 ▶ 開要素の設定/解除)が、スタンダードレベルで利用可能になりました。
- 工具軸ベクトル変換の機能拡張
- ネスティングの機能拡張
- その他多数…